

同時発表：公益財団法人 日本財団、海事局

令和7年12月10日

## 我が国で初めて「自動運航船」<sup>(注)</sup>の船舶検査に合格！

～船舶に搭載された自動運航システムについて  
安全性を確認し船舶検査証書を交付しました～

(注) 現時点では、船員が常時乗船し、無線通信対応や灯火・形状物の監視などを行いながら運航します。

12月5日、旅客フェリー「おりんぴあ どリーむ せと」の自動運航システム<sup>※1</sup>について、安全基準への適合性を確認し、我が国初の船舶検査証書を中国運輸局岡山運輸支局にて交付しました。

※1 本船は、周囲を監視して相手船などを見つける認知、衝突・座礁を回避するルートを考える判断、そして判断結果に基づいて実際に舵を動かす操作といった機能を有するシステムを搭載しています。

- 国土交通省海事局では、自動運航船の2030年頃までの本格的な商用運航の実現に向けて、「自動運航船検討会」での議論を踏まえ、本年6月に自動運航船の安全基準を策定しました。
- この度、日本財団が進めているプロジェクト「MEGURI2040」<sup>※2</sup>の中で開発された自動運航システムを搭載した旅客フェリー「おりんぴあ どリーむ せと」について、安全基準に基づいて中国運輸局岡山運輸支局が船舶検査を行い、12月5日に当該システムを搭載する船舶として我が国で初めて船舶検査証書を交付しました。これにより、新岡山港（岡山県）と土庄港（香川県）間で一定の条件下で自動化された運航が開始されました。
- 今後、「自動運航船検討会」においては、本船をはじめとする自動運航船の実証運航を通じて、船員の労働負荷の変化を検証していくこととしています。

※2 URL：<https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/meguri2040>

### 【お問合せ先】

中国運輸局海上安全環境部 船舶検査担当 <sup>みやち</sup>宮地

TEL：082-228-8709

岡山運輸支局 船舶検査担当 <sup>みやた</sup>宮田

TEL：0863-31-4266